

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 平野区
学校名 大阪市立瓜破東小学校
学校長名 新井 寿栄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動をご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立瓜破東小学校では、第6学年36名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本校の令和4年度結果と比較すると、国語科の平均正答率の対全国比は0.87ポイントから0.89ポイントに向かって上昇し、対全国差は-8.6ポイントから-7.2ポイントに上がった。領域別では「読む」で、-15.4ポイントから-6.4ポイントと大きく上がった。また、平均無解答率についても対全国差が+2.3ポイントから+2.1ポイントに向上した。算数科の平均正答率の対全国比は0.85ポイントと現状維持であったが、対全国差は-9.2ポイントから-9.5ポイントと下がった。領域別では「変化と関係」で-9.2ポイントから-5.6ポイントへ、「図形」で-12.2ポイントから-4.4ポイントへと大きく向上がみられた。また、平均無解答率についても対全国差が+3.7ポイントから+0.9ポイントに向上した。児童質問紙調査においては、「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的回収率が63.4ポイントから75ポイントと大きく向上している。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語] 児童質問紙調査「国語の授業の内容はよくわかる」の肯定的回収率は94.4%、「国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係を作る働きがあることについて学んでいる」の肯定的回収率は97.2%と非常に高い結果が出ている。また、令和4年度本校の課題であった「読むこと」は、学校全体で読書活動の取り組みを続けてきた結果、対全国差が-15.4ポイントから-6.4ポイントと向上した。しかし平均正答率は、大阪市平均を7ポイント、全国平均を7.2ポイント下回っているという現状がある。

[算数] 児童質問紙調査「算数の勉強は大切だ」の肯定的回収率は91.7%、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」の肯定的回収率は97.2%と非常に高い結果が出ている。しかしながら「算数の授業の内容はよくわかる」の肯定的回収率は83.3%となっている。これが大阪市平均より9ポイント、全国平均を9.5ポイント低い結果となり現れている点に本校の課題がみられる。

質問紙調査より

「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う」の肯定的回収率は、91.7%、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う」の肯定的回収率は97.2%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の肯定的回収率は91.7%と、いずれも大阪市平均・全国平均を上回る結果であった。また、「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的回収率は75%で、令和4年度と比較して11.6ポイント向上した。本校が、児童一人一人に寄り添った支援・指導や、縦割り活動等の児童会活動を重視してきた結果の表れといえる。

今後の取組(アクションプラン)

本校では、キャリア教育の一環として外部人材等を積極的に活用し、本物に触れる場を設定することで児童に感動体験を与え、夢に向かうためには努力が必要だと感じられるようにしている。そこには、児童自身が規則正しい生活を送ることや、勉強の大切さを実感できるようにとの教職員の強い願いも込められている。

日々、学校独自の漢字検定（うりひが漢字検定）や計算問題に取り組み基礎学力の定着を図ったり、読書週間をはじめとした読書活動の更なる充実に取り組んだりしている。また、スクールアドバイザーの定期訪問を積極的に活用し、研究教科である「算数科」を中心に全教職員の授業に対して指導を仰ぐ機会を設定し、授業力向上に努めている。児童の学びをより豊かにできるよう、これらの取り組みは今後も継続していく。

【 全体の概要 】

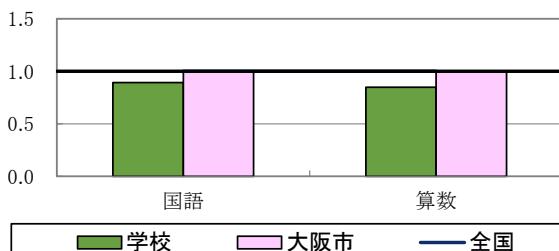
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	60	53
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

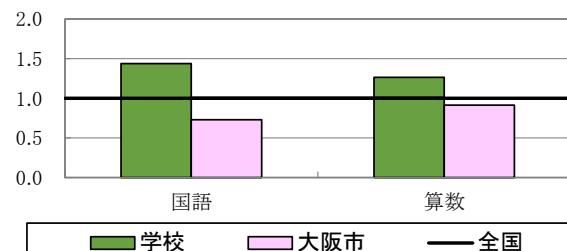
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	6.9	4.3
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



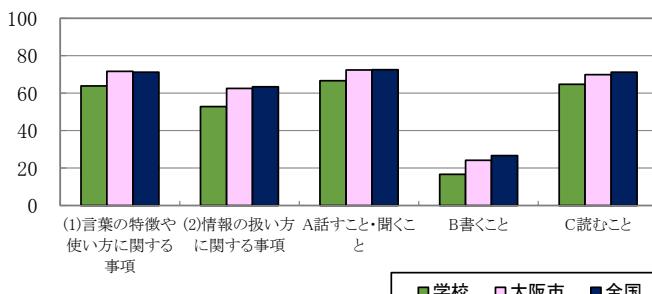
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	63.9	71.7	71.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	52.8	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	66.7	72.4	72.6
B 書くこと	1	16.7	24.2	26.7
C 読むこと	3	64.8	69.9	71.2

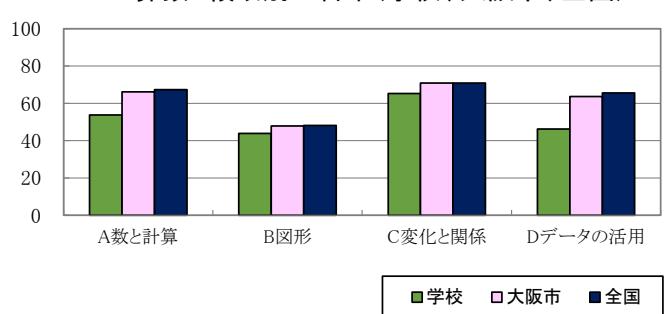
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	53.7	66.1	67.3
B 図形	4	43.8	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	65.3	70.8	70.9
D データの活用	3	46.3	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

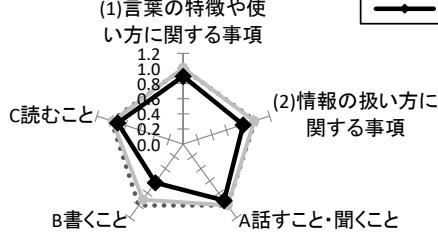


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



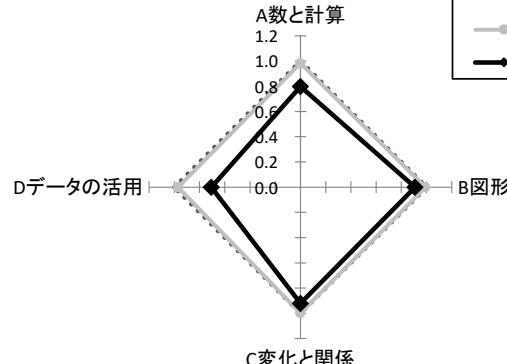
国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項



..... 全国
— 大阪市
— 学校

算数 領域別正答率(対全国比)



..... 全国
— 大阪市
— 学校

児童質問紙より

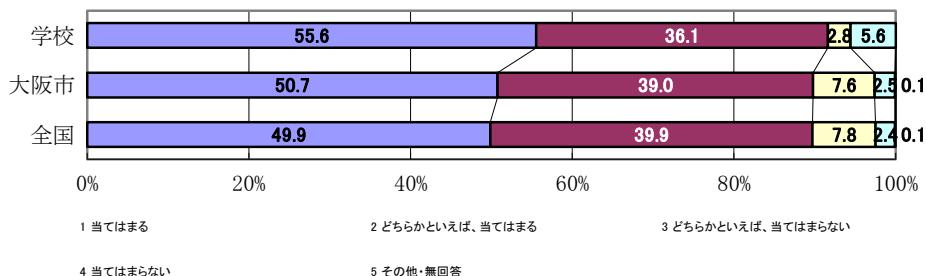
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号

質問事項

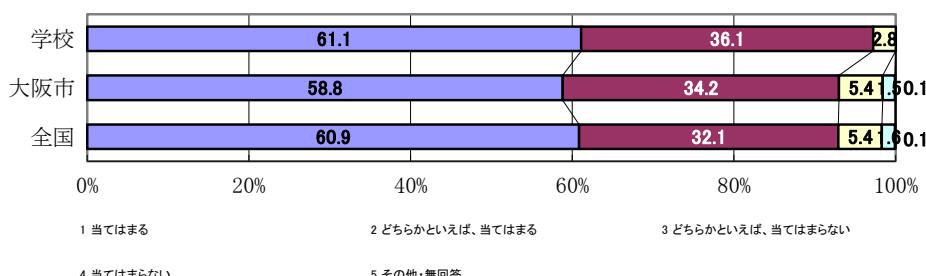
5

先生は、あなたのおいところを認めてくれていると思う



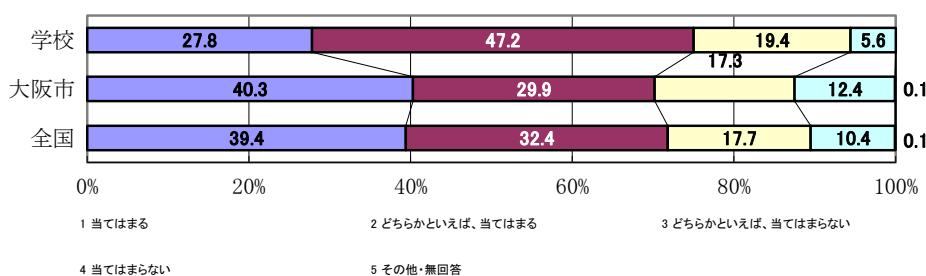
6

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う



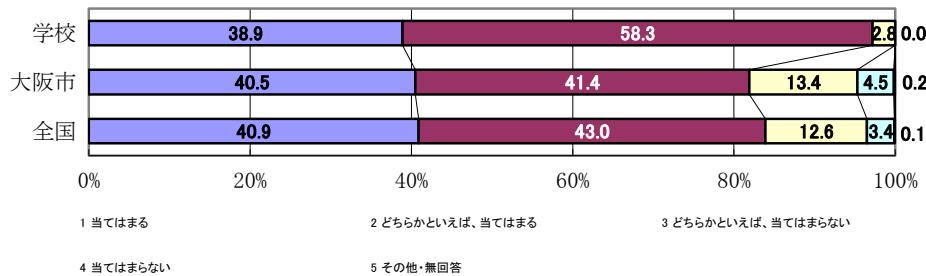
24

読書は好きですか



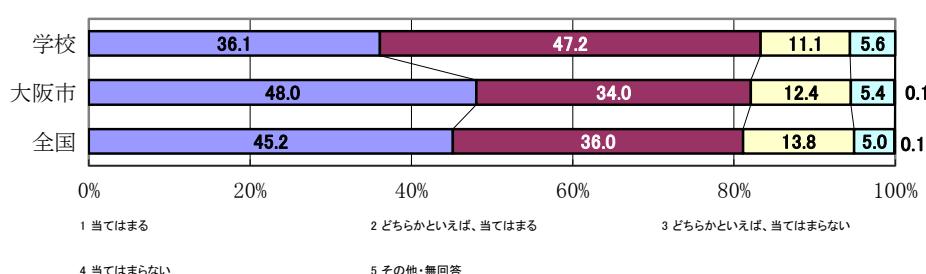
47

国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係を作る働きがあることについて学んでいる



53

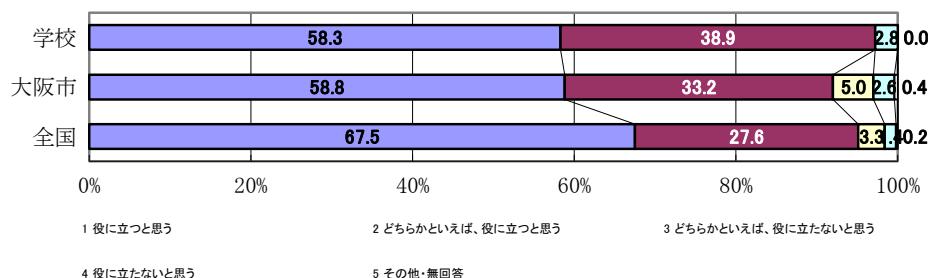
算数の授業の内容はよく分かる



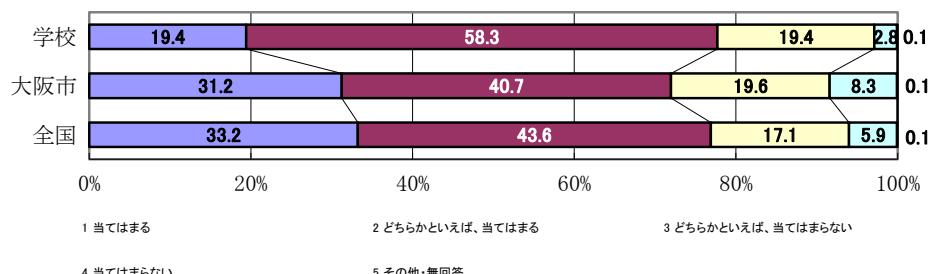
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

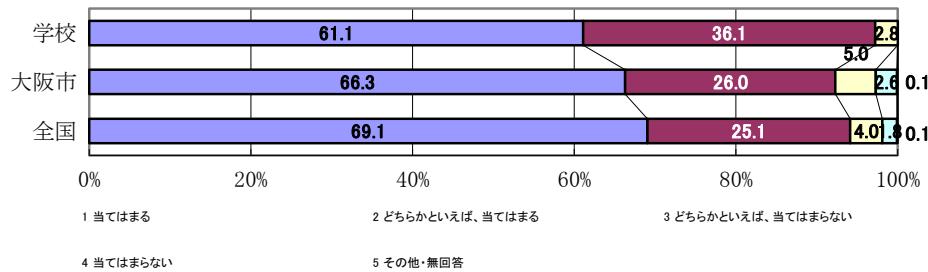
質問番号
質問事項
30
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



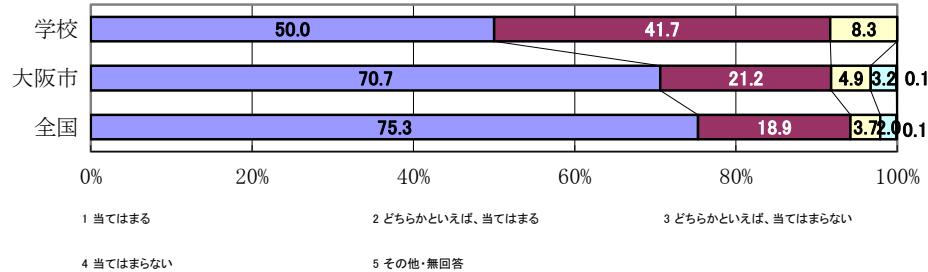
26
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



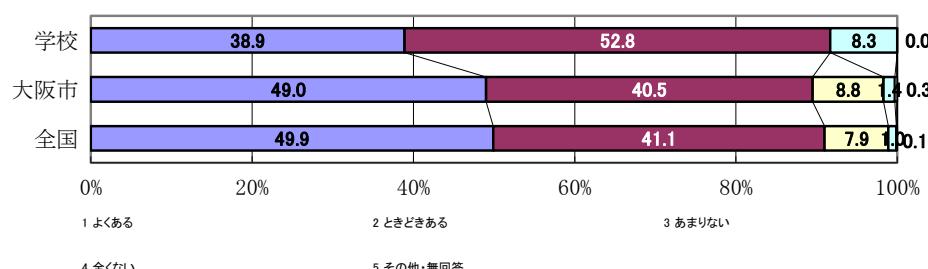
44
国語の勉強は大切だ



52
算数の勉強は大切だ



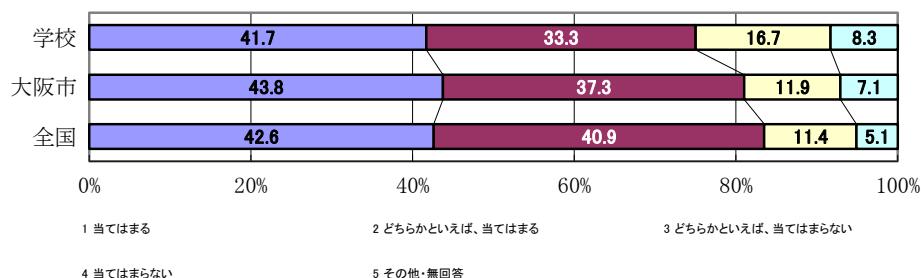
15
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



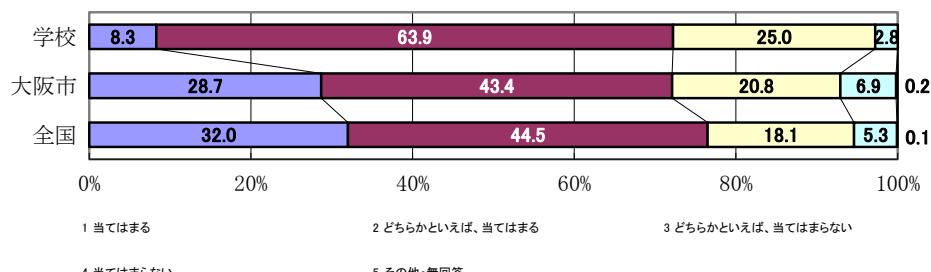
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

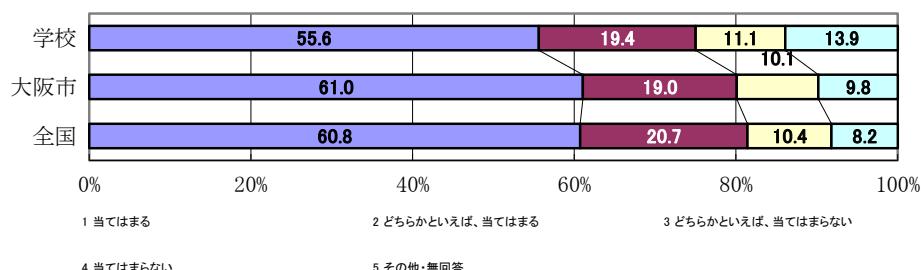
質問番号
質問事項
4
自分には、よいところがあると思う



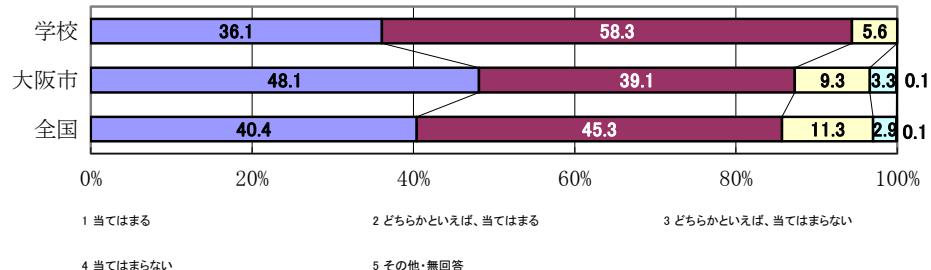
13
自分と違う意見について考えるのは楽しい



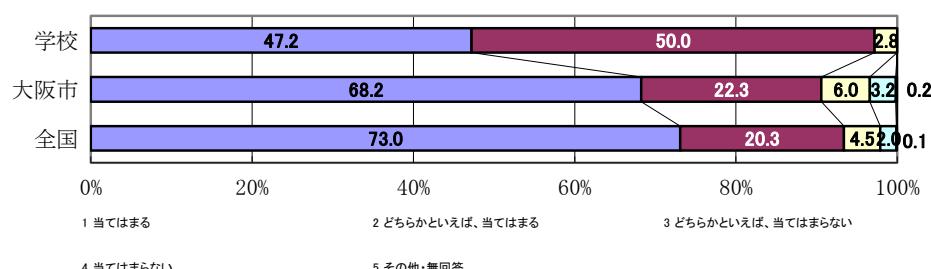
7
将来の夢や目標を持っている



45
国語の授業の内容はよくわかる



54
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ



学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

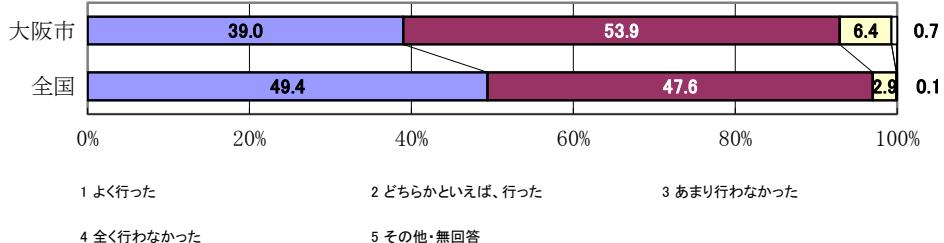
質問番号

質問事項

12

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた

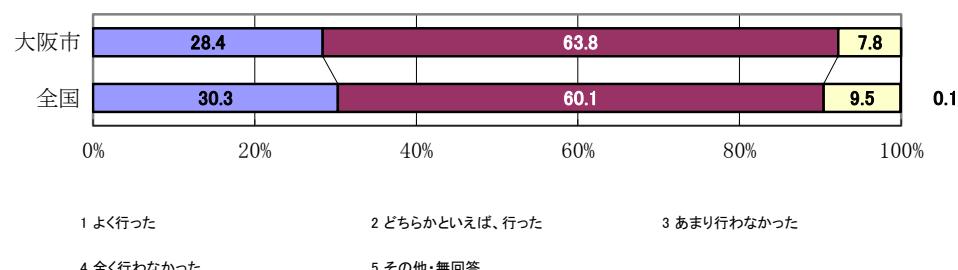
学校 「よく行った」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

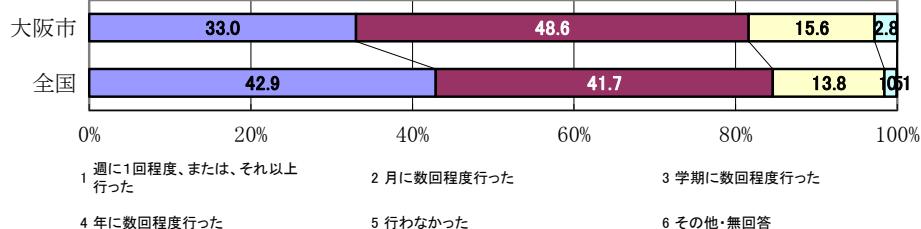
学校 「よく行った」を選択



36

調査対象である第6学年の児童に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか。

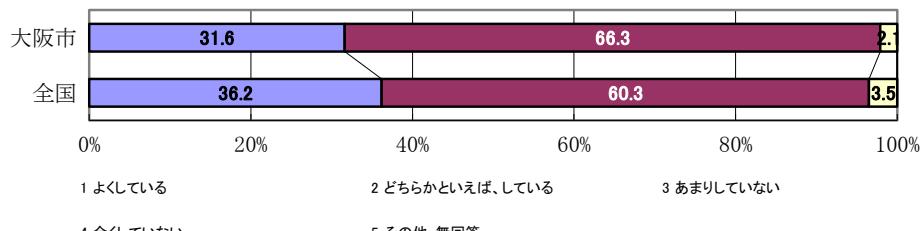
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



40

調査対象学年の児童に対して、特別の教科道徳において、取り上げる題材を児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている

学校 「よくしている」を選択



72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「よく参加している」を選択

